

根岸中学校「持続可能な…モデル校」の考え方

1 学校裁量の時間（緑色の部分）を生み出す工夫

- ① 50分の授業時間→45分に短縮して、1日に30分の「学校裁量の時間」を生み出す。
- ② これにより、15:45（下図朱点線）以降にしか取れなかった「学校裁量の時間」を柔軟に活用できるようにしている。

2 学校裁量の時間の活用のしかた

(1) ねらい

- ① 勤務時間内に諸会議、事務処理等を行う（終わらせる）ことを可能にする。
- ② 生徒の活動時間を、必要な時期に必要な時数を配置することを可能にする。

(2) 日課表

勤務時間	① 教職員の働き方改革		② 生徒の活動に充てる2種類の時間割			
8:15 ↓ 15:45 ↓ 16:45	打ち合わせ	8:15 ~ 8:25	打ち合わせ	8:15 ~ 8:25	打ち合わせ	8:15 ~ 8:25
	生徒登校	8:20 ~ 8:35	生徒登校	8:20 ~ 8:35	生徒登校	8:20 ~ 8:35
	朝の会	8:35 ~ 8:40	朝の会	8:35 ~ 8:40	朝の会	8:35 ~ 8:40
	MNT(10)	8:40 ~ 8:50	MNT(10)	8:40 ~ 8:50	MNT(10)	8:40 ~ 8:50
	1校時	8:55 ~ 9:40	1校時	8:55 ~ 9:40	1校時	8:55 ~ 9:40
	2校時	9:50 ~ 10:35	2校時	9:50 ~ 10:35	2校時	9:50 ~ 10:35
	3校時	10:45 ~ 11:30	3校時	10:45 ~ 11:30	3校時	10:45 ~ 11:30
	4校時	11:40 ~ 12:25	4校時	11:40 ~ 12:25	4校時	11:40 ~ 12:25
	昼食	12:30 ~ 12:50	昼食	12:30 ~ 12:50	昼食	12:30 ~ 12:50
	昼休み	12:50 ~ 13:05	LNT(30)	12:50 ~ 13:20	昼休み	12:50 ~ 13:05
	5校時	13:10 ~ 13:55	5校時	13:25 ~ 14:10	5校時	13:10 ~ 13:55
	6校時	14:05 ~ 14:50	6校時	14:20 ~ 15:05	6校時	14:05 ~ 14:50
	帰りの会	14:55 ~ 15:00	帰りの会	15:10 ~ 15:15	ANT(30)	15:00 ~ 15:30
	清掃	15:00 ~ 15:15	清掃	15:15 ~ 15:30	帰りの会	15:35 ~ 15:40
学校裁量の時間		学校裁量の時間		学校裁量の時間		

(3) 各時間の活動例（計画中的のものも含む）

	MNT	LNT	ANT
活動例	・ 教科による小テスト ・ 生徒会からの連絡等  元々は「朝読書」の時間 主体性育成の時間へ移行	・ 体育祭に向けての活動 ・ 対外的な活動への対応  放課後の時間を確保したい ときや午後の時間調整	・ 主に学年・学校行事で 年間通じて様々に活用  帯どりの活動時間として、 継続した取組に活用
扱い	教科・特別活動	学級活動・総合	短時間の学級活動・総合

### 3 留意点

#### (1) 授業時数を確保するために（増やす工夫・減らさない工夫）

- ① 140コマ=7,000分として、45分・30分・10分など授業時間を「分単位」で管理する。
- ② 6コマ（教科）+7コマ目（学活・総合）が可能な時間割を作成し、教科時数を増やす。
- ③ 水泳学習・保育実習（7月）や学期末（7・12月）面談期間中に50分授業を実施する。

#### (2) 学校裁量の時間を有効に使うために

- ① 教科会や生徒指導連絡会等、毎週こまめに行う必要がある会合は、時間割の中に組み込む。
- ② 固定曜日の出張や非常勤、育児・介護に携わる教職員の生活に配慮した時間割を作成する。

#### (3) 生徒・保護者の不安解消と理解や支持を得るために

教育課程（活動）説明会、学校だより、学校運営協議会等、様々な機会に説明を行う。

### 4 エビデンス

#### (1) 時間外勤務

令和3年度の時間外在校時間と、（3年度を100とした）令和4年度以降との比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年度(分)	4481	4879	4193	4061	※691	※2405	※4039	4046	3264	3118	3110	3581
同 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
4年度(%)	94.1	85.0	109.5	76.4	176.3	150.9	108.6	89.3	88.0	98.0	110.6	91.6
5年度(%)	79.1	72.5	82.9		※行事中止	※分散登校	※行事中止					

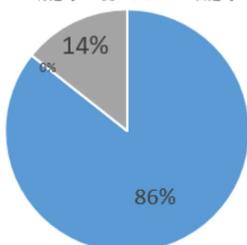
#### (2) ストレス指標

H30 (122) → R1 (106) → R2 (83) → R3 (93) → R4 (85) → R5 (?)

#### (3) 教職員の声

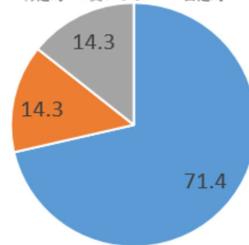
勤務時間内に自身の裁量の時間が増えた

■ 肯定的 ■ 変わらない ■ 否定的



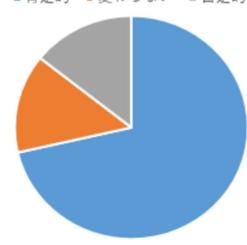
余裕をもって業務に取り組むことができる

■ 肯定的 ■ 変わらない ■ 否定的



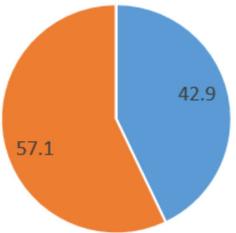
帰宅時間が以前に比べて早まった

■ 肯定的 ■ 変わらない ■ 否定的



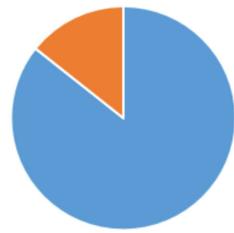
職員間の情報共有や相談する機会が増えた

■ 肯定的 ■ 変わらない ■ 否定的



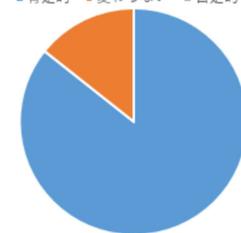
柔軟な日課のもと生徒の集中力の高まりを感じる

■ 肯定的 ■ 変わらない ■ 否定的



柔軟な日課のもと生徒はいきいきと活動している

■ 肯定的 ■ 変わらない ■ 否定的



17 「質の高い学び」と「持続可能な学校」の同時達成を目指す取組の中で、

児童生徒にとってよかった点がありましたら、入力してください。

- ・ 45分授業で授業終了時刻が早まることで、放課後の活動を充実させられている。
- ・ 放課後の時間が生まれるのはとても良い。短い時間での学習は集中力が高まり良い。

- ・45分授業の方が、生徒の疲労度は軽減されているように感じる。
- ・様々な方法を使えるようになり、自分のやりやすさや場面に応じた方法をそれぞれが取れるようになったこと。
- ・探究的な学びが増えたことで、興味関心のある内容を深められるようになり、学習が楽しくなった生徒もいる。

18 「質の高い学び」と「持続可能な学校」の同時達成を目指す取組の中で、児童生徒にとって課題となっている点がありましたら、入力してください。

- ・授業時数が多いこと。
- ・保健体育の授業は45分授業は体操から振り返りまでしっかり行いたいですが、活動時間の確保を優先しているため、振り返りを授業時間内に取り切れないのが教科としての課題。
- ・ICT機材など様々なツールが増えることによって混乱したり、追いつくのが精一杯で考える余裕が無い状況になってしまう子も少しいる。
- ・特性を抱える子たちにとって対話的な学びが苦しい子たちもいる。

19 「質の高い学び」と「持続可能な学校」の同時達成を目指す取組の中で、教職員にとってよかった点がありましたら、入力してください。

- ・生徒と同じく、放課後に使える時間が増えたこと。
- ・短い時間での授業づくりは指導者にとっても何を大切にすることを考える切っ掛けとなるためとても良い。
- ・帰宅時間は以前より早まった。

20 「質の高い学び」と「持続可能な学校」の同時達成を目指す取組の中で、教職員にとって課題となっている点がありましたら、入力してください。

- ・授業時数が多い。
- ・そもそも休憩時間は法律上設定されてはいるが、給食指導もあり、休憩時間が取れないのが問題。かつ休憩時間は実質労働している。その制度ももう少し改正されるべき。教員不足とやるべきことが多すぎて、まだまだ現場の負担が大きい。
- ・効率化なのか、手抜きなのか、何をどのように精選していくのかという部分で、職員間の意識や捉え方の隔たりがかなりあると思う。様々な実践例を学校を超えて共有していくことで少しずつ推進していけるのではないかと。

21 生み出された裁量のある時間を、「質の高い学び」に向けた学校運営や学年経営にどのように活用されているか、入力してください。

教職員の時間的余裕が生まれ勤務時間内に校務分掌、学年経営における業務に当てることができる。

## 5 小中ブロックでの取組（案）

（1）根岸中ブロック教職員合同研修会全体会の中で両校のモデル校としての取組を紹介し合い、現状を理解し合うとともに、今後のブロック活動について一つ提案をさせていただきました。

### — 全国学状から見えた問題点 —

中学校の全国学力・学習状況調査の結果を見ると、毎年「自己有用感」が低い傾向が見られる。詳細に見ていくと、「将来の夢や目標を持っていますか。」への回答状況が原因であるようだ。

### — 仮定 —

子どもが将来の夢や目標を持ちにくいのは、現代社会そのものが「将来の変化を予測することが困難な時代であるためだ」と仮定すると、どのような手立てが必要になるだろうか。

## (2) 提案

「予測できない未来に対応するためには」のヒントを「論点整理」の中に見つけることができる。そこでは学校の場において、次の①と②の二つが求められている（以下、「論点整理」の記述）。

① 子供たち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成していくことや、

これを両校の「学校教育目標」と対比してみると、次のように両校の教育目標との一致が見られる。であるならば、これを子どもの発達段階に合わせて明確にしていくことを活動の柱にすべきであろう。

(根岸中学校は、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、)

自らの可能性を信じて、たえず成長していこうとする人間の育成を目指します。

子供たち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成していく

自らの可能性を信じ、夢の実現を目指して、たくましくあゆみ続ける子の育成

(根岸小学校)笑顔と拍手につつまれて、夢に挑戦 根岸の子

新しい時代に求められる資質・能力とはどんなことか

② そのために求められる学校の在り方を不断に探究する文化を形成していくことがより一層重要になる。

ブロックで取り組む横浜市のモデルケースになり得る

## (3) 現行の「教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力」

平成の時代に当時のブロックで検討して、次の3つを通称「ぐるぐる」にまとめています。

(1) 生命尊重

(2) 社会生活との関わり

(3) 道徳性の芽生え

これらの資質が大切にすべき事柄なのは間違いありませんが、これらは、むしろ、いつの時代においても不偏的なもので、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくためには、これとは別に、新たな資質・能力を挙げていく必要があると考えます。

## (4) 新しい時代を見据えた資質・能力の検討

そこで、本年度の後半期から、新たな3本柱を形成すべく小中ブロック全教職員で取り組んでいく必要性を感じています。次回、11月2日の合同協議会をスタートに、学校評価アンケートや

【全国／横浜市】学力・学習状況調査等の結果等を参考にしながら両校で考えていきたいと思えます。

中  
3  
年  
間

小  
6  
年  
間

### 視点①「質の高い学び」の実現

主体性の育成、個別最適な学びの保障、情報活用能力

### 視点②「持続可能な学校」の探究

チーム学年経営（小）、○NTの有効活用（中）

# 「質の高い学び」と「持続可能な学校」 の同時実現に向けて

学校名

横浜市立深谷中学校

## 【質の高い学び】

- ◎ 飽きさせない授業展開～基礎基本を大切に～
- ◎ “教員相互が授業を見合う週間”を設定して、授業力向上へ取り組む
- ◎ “端末持ち帰り試行校”として、家庭学習習慣の育成
- ◎ 生徒の自主的な学びを支援する学習支援ソフトの活用
- ◎ 「学習ブリッジ」の時間の毎週の確保
- ◎ PTAの協力による定期試験前の自習時間の確保

## 【持続可能な学校】

- ◎ 中学校区としての基礎学力の向上へ向けて、小学校との連携
- ◎ 中学校給食の安定供給を通し、誰もが安心して豊かに過ごせる学校作り（給食推進校）
- ◎ 職員の平均通勤時間（往復 約2時間30分）を考慮しての働き方改革
- ◎ 短時間授業による組み合わせの自由度向上
- ◎ 採点ソフトの全教科導入による時間短縮
- ◎ 時間割作成ソフトサポート切れに対応する新ソフトウェア検討

【成果や課題・・・エビデンスや児童生徒や教職員の声、学校評価アンケートや学校運営協議会の声など】

- ◎ 成果は次項以降、エビデンスデータで説明
  - ・ 教育政策推進課のアンケート結果
  - ・ 庶務システムで分析した教職員の時間外勤務状況
  - ・ 職員ストレスチェック結果から見えてきたもの
- ◎ 課題は、市学状の結果分析

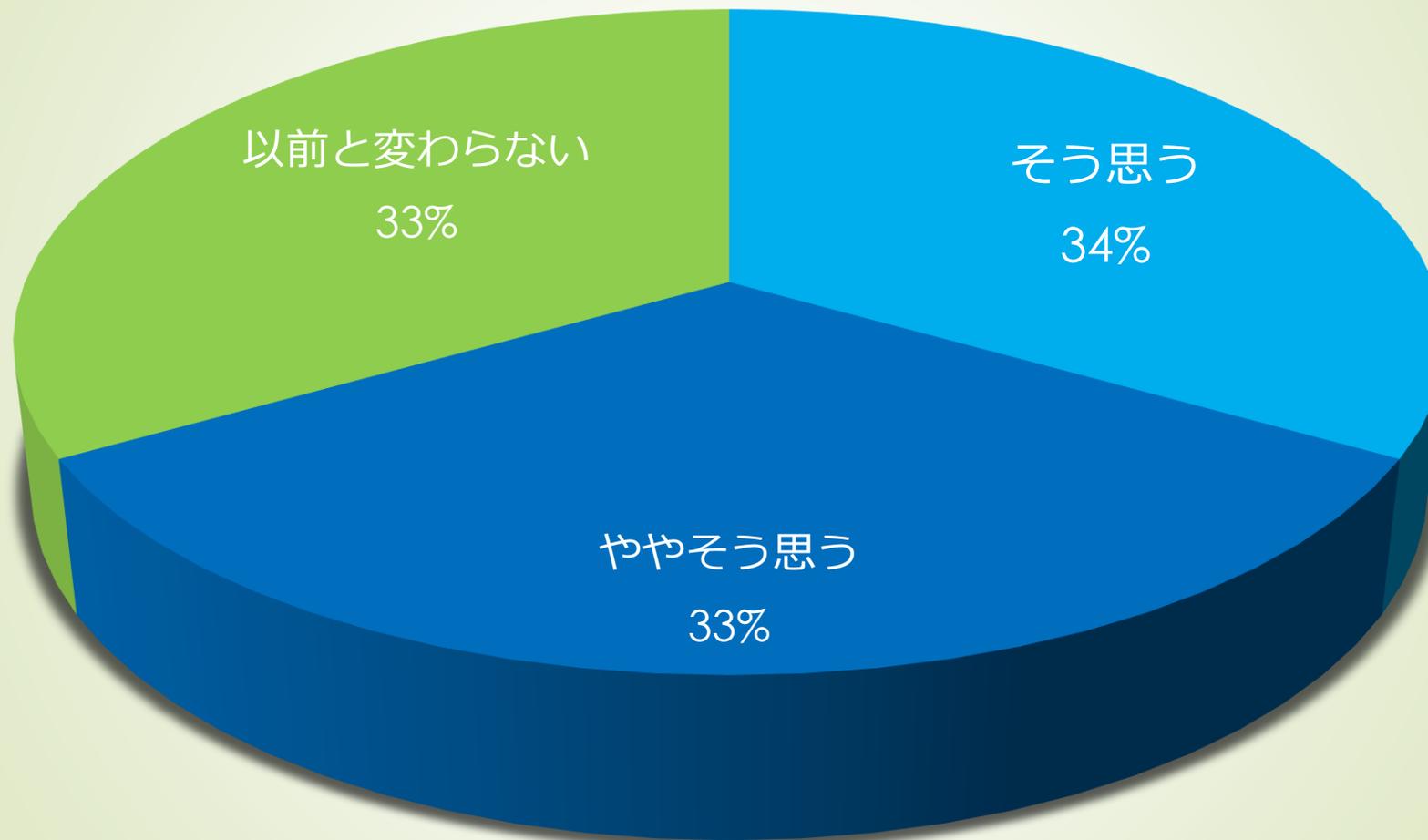


# 教職員アンケートより①

学校名

横浜市立深谷中学校

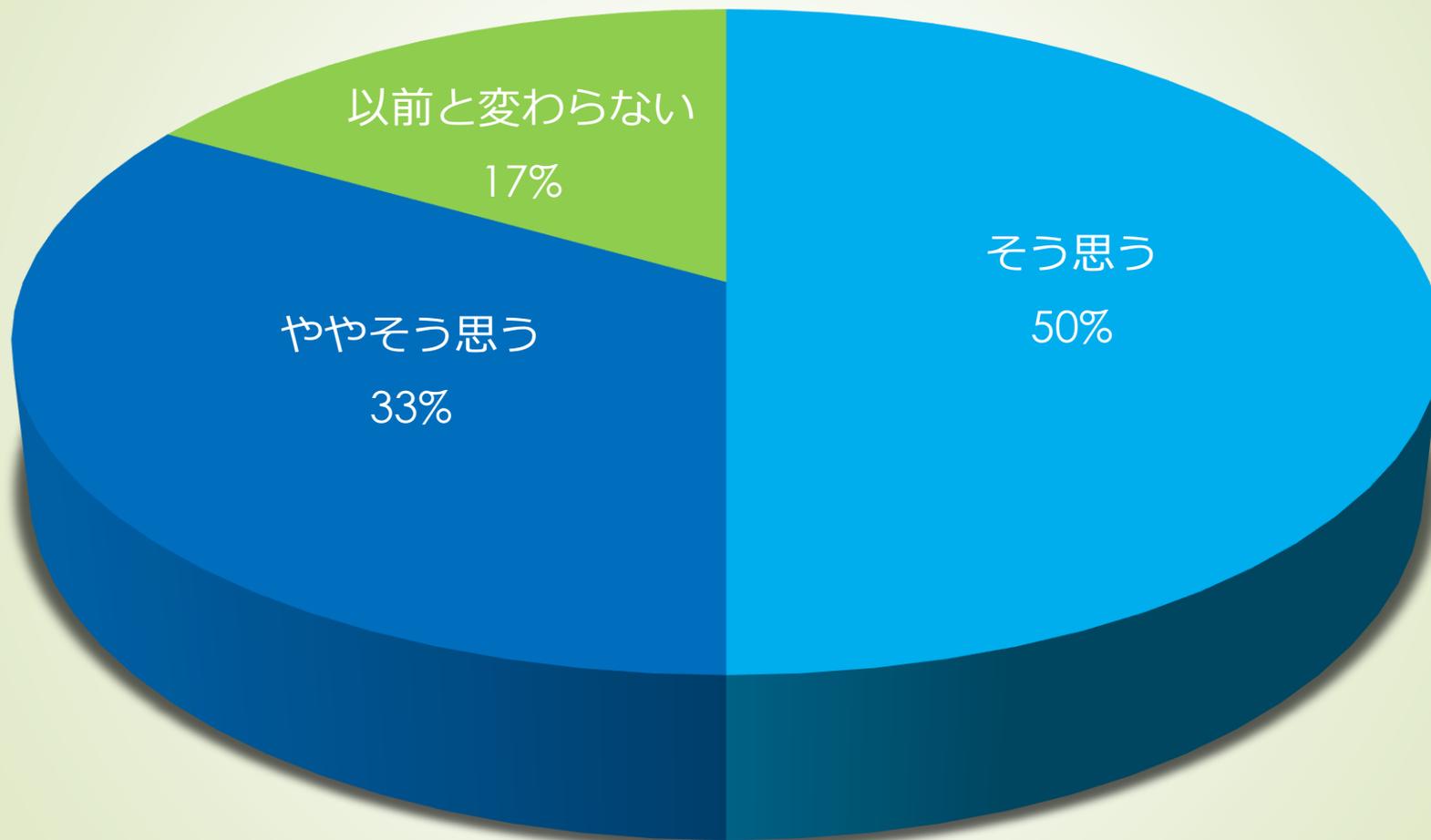
## 余裕をもって業務に取り組んでいる



# 教職員アンケートより②

学校名  
横浜市立深谷中学校

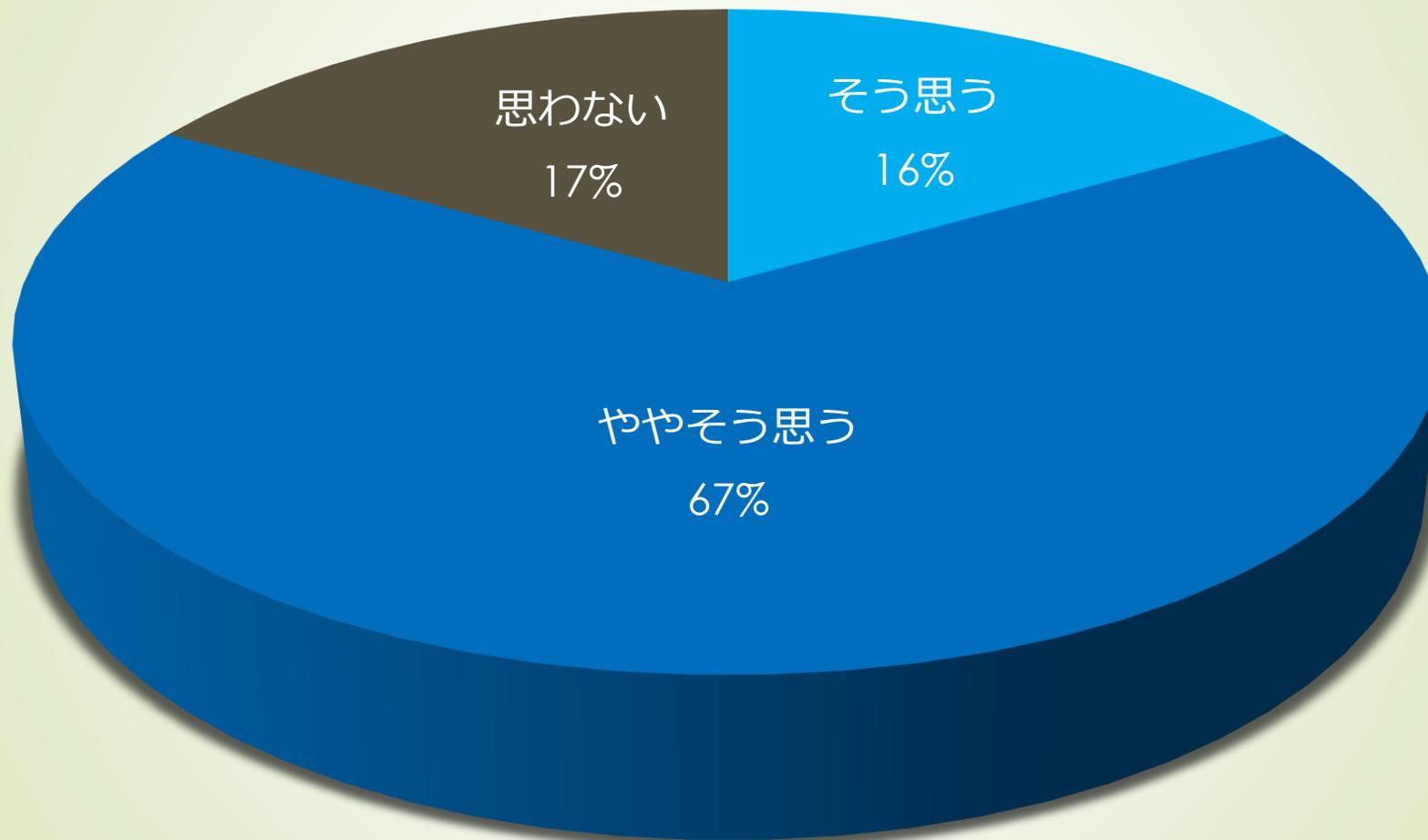
## 帰宅時刻が以前に比べて早まった



# 教職員アンケートより③

学校名  
横浜市立深谷中学校

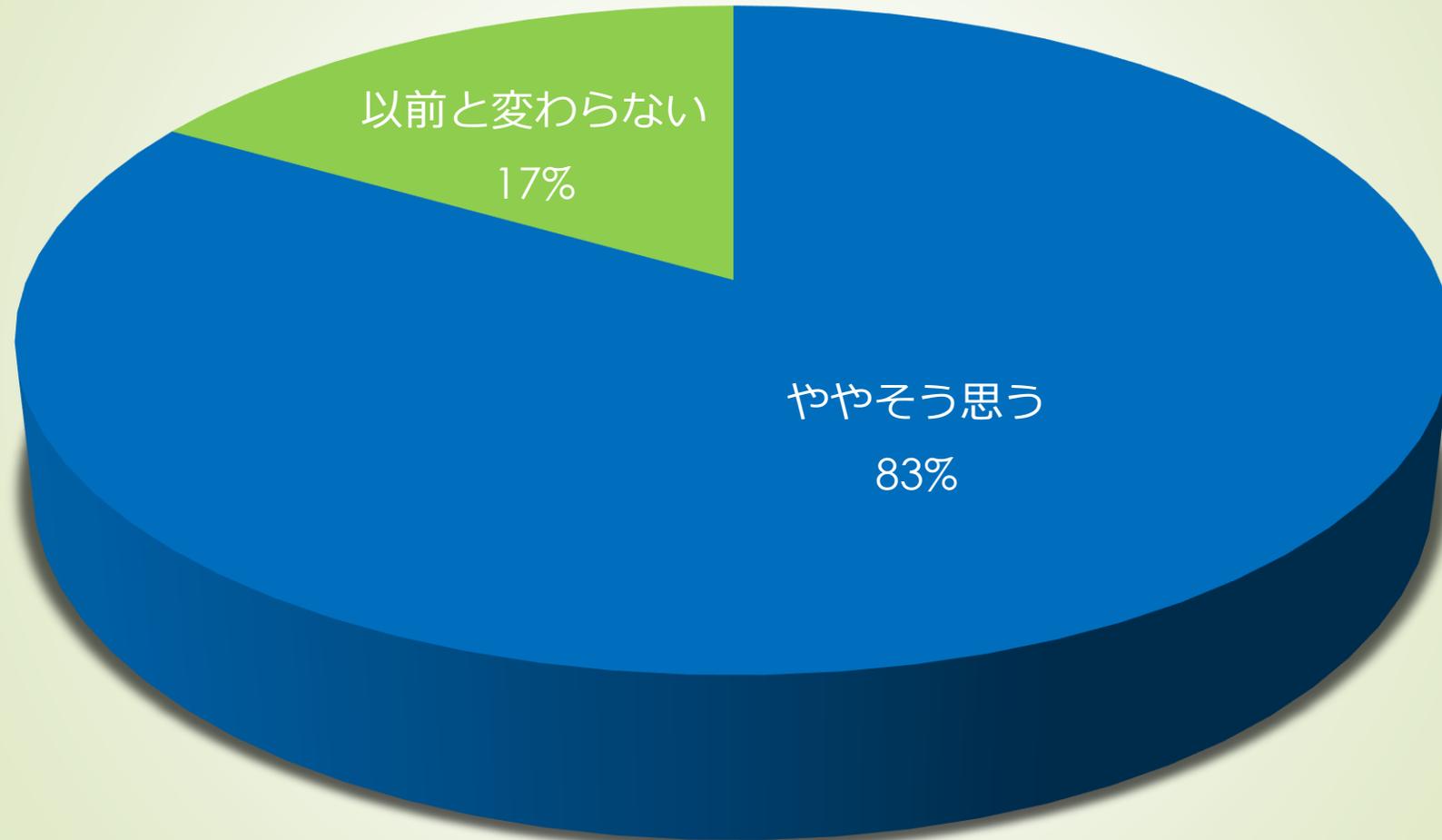
## 生徒の集中力が高まった



# 教職員アンケートより④

学校名  
横浜市立深谷中学校

## 生徒が生き生きと活動している



# 過去4年間の教職員勤務時間データ

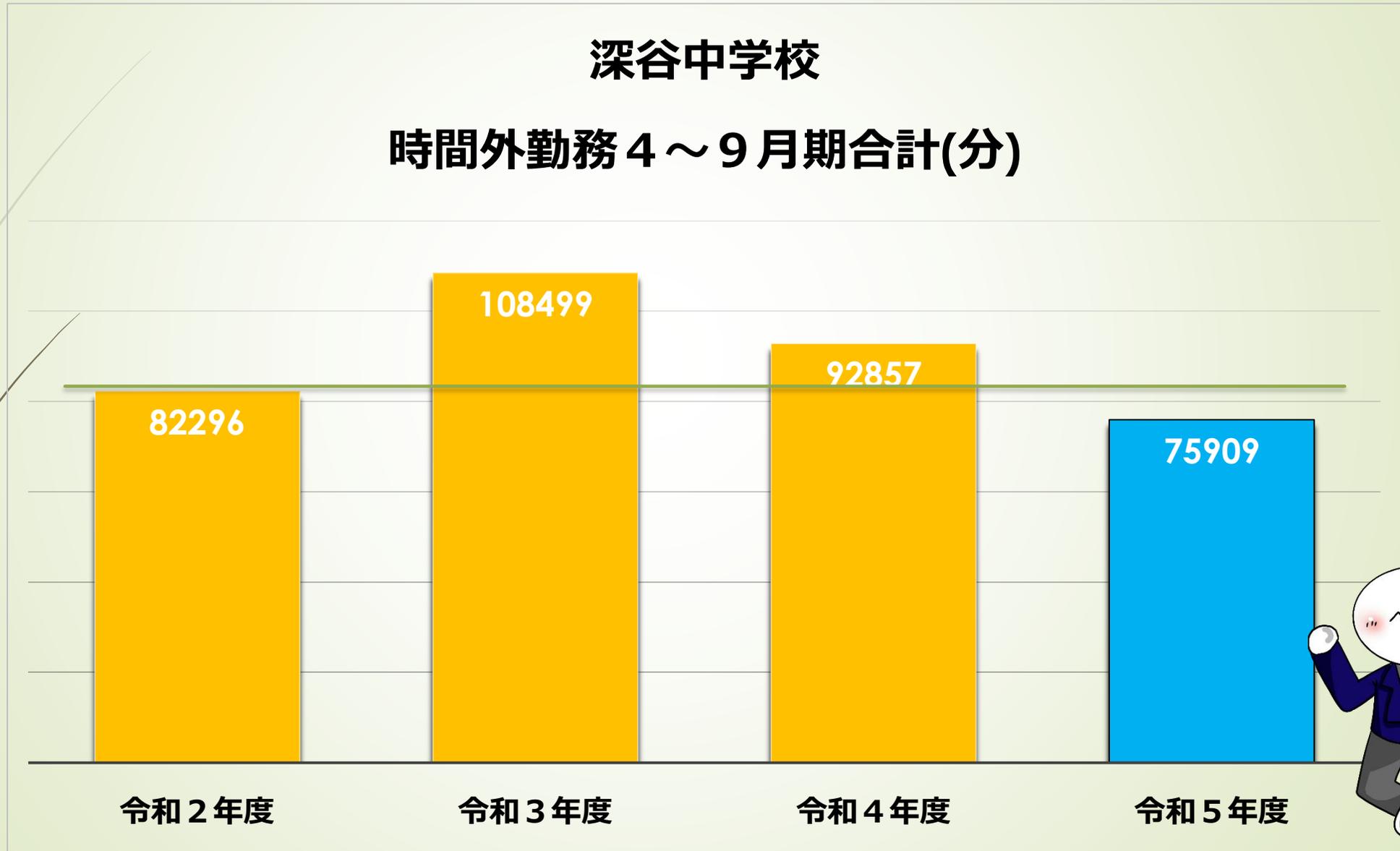
(庶務システムより)

学校名

横浜市立深谷中学校

## 深谷中学校

### 時間外勤務4～9月期合計(分)



6

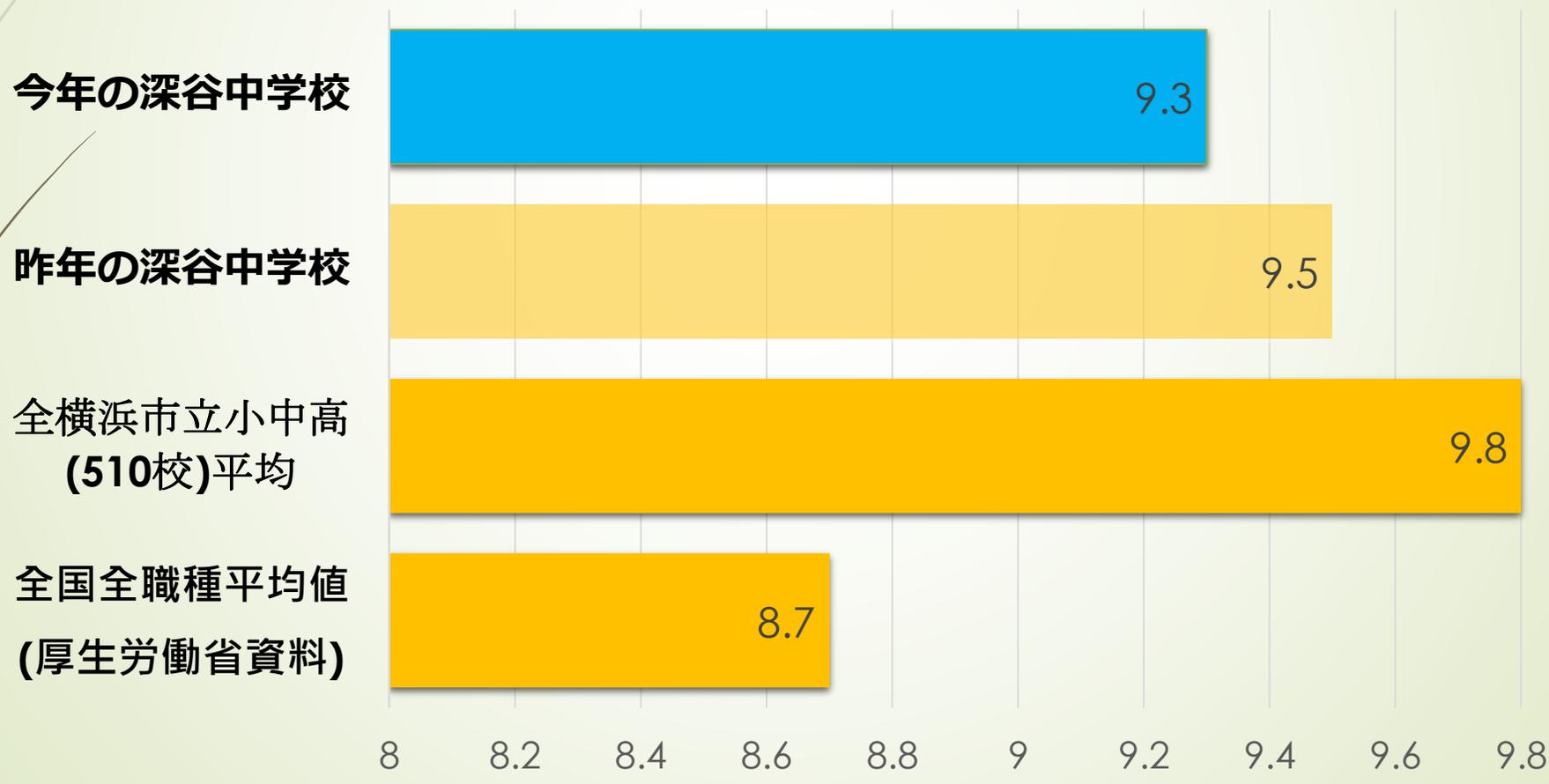
# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校

## 仕事の量的負担

(高値ほどストレスが高い)



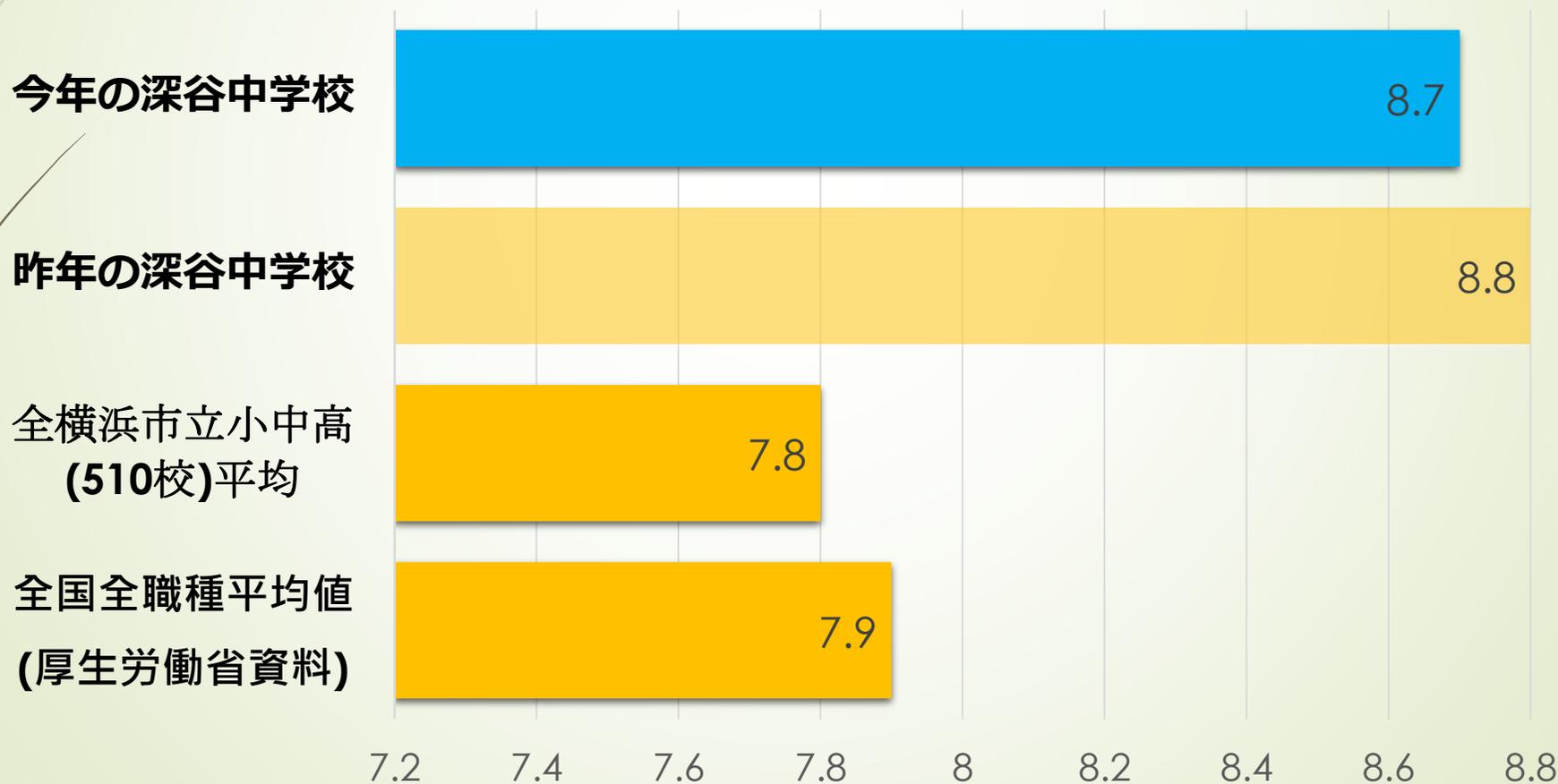
# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校

## 仕事のコントロール度

(低値ほどストレスが高い)



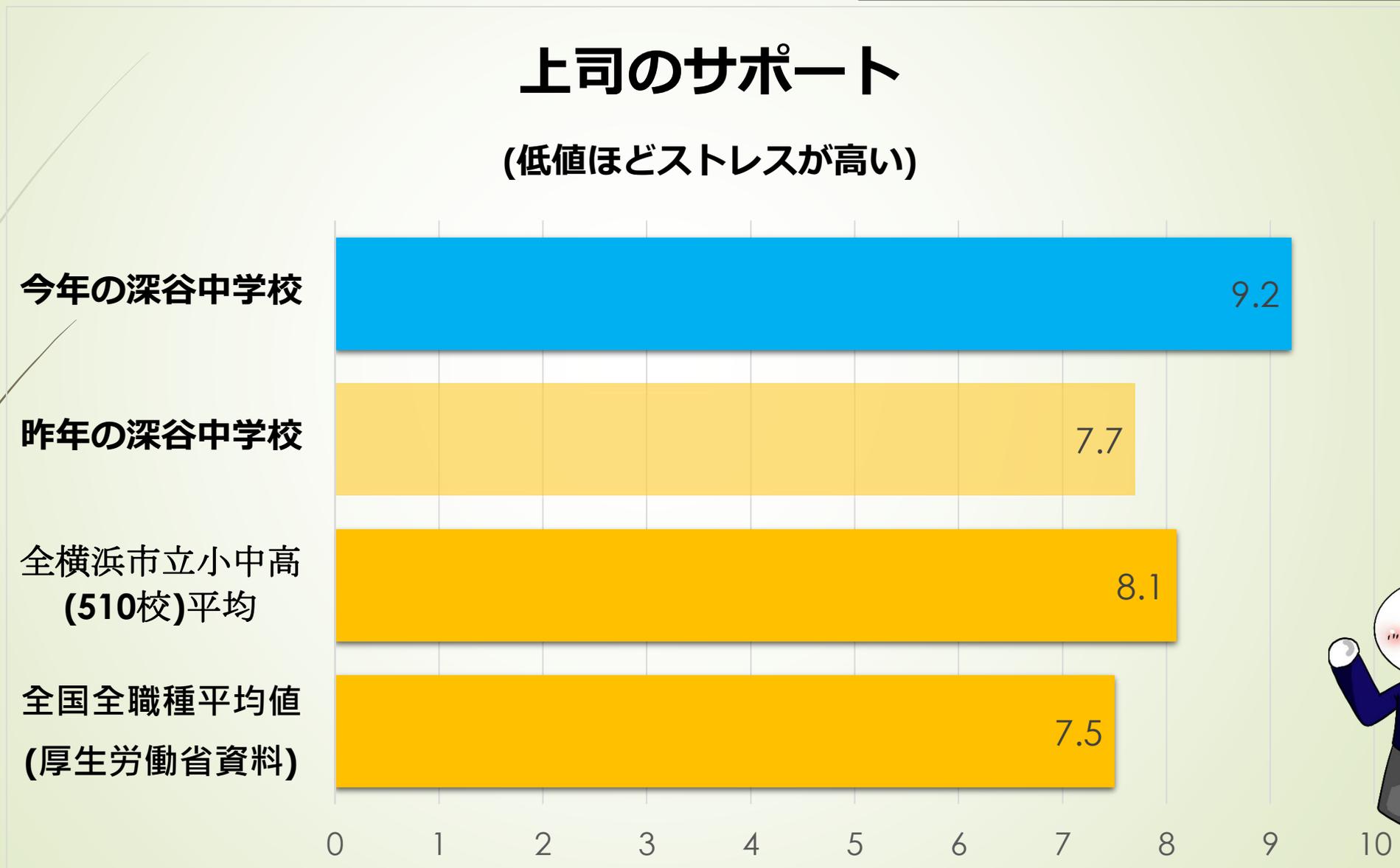
# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校

## 上司のサポート

(低値ほどストレスが高い)



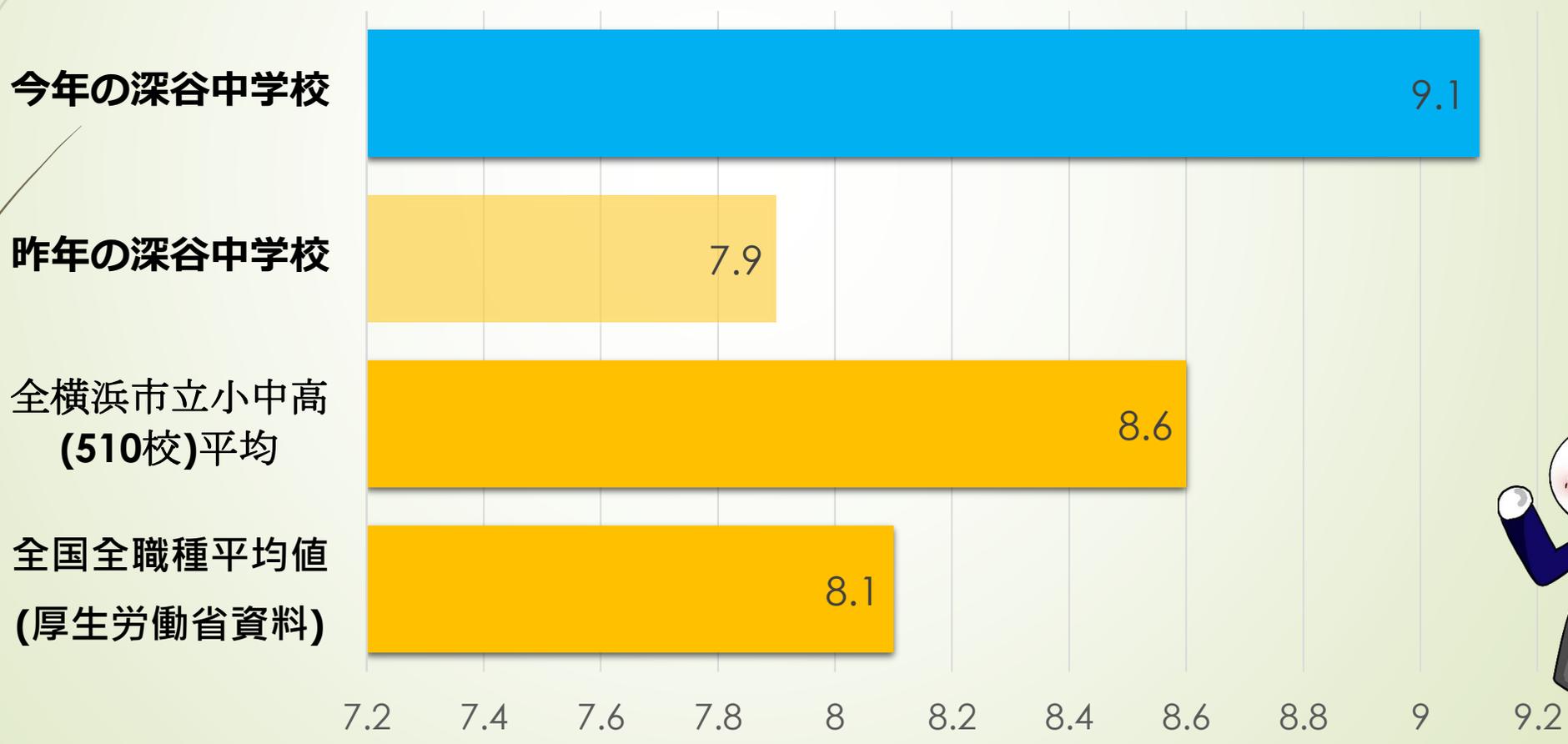
# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校

## 同僚のサポート

(低値ほどストレスが高い)



10



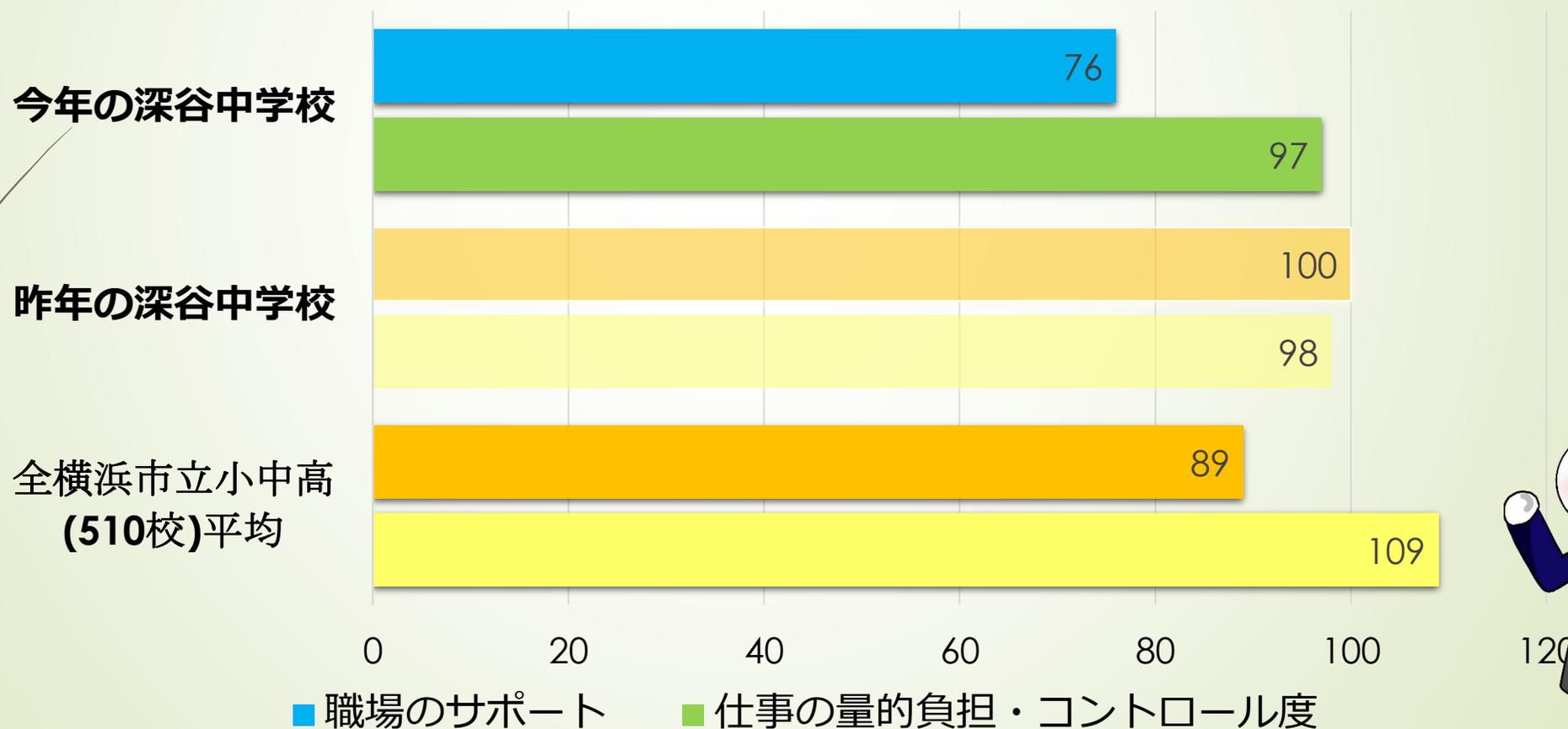
# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校

## 深谷中学校の健康リスク（全国平均 = 100）

（高値ほど健康リスクが高い）



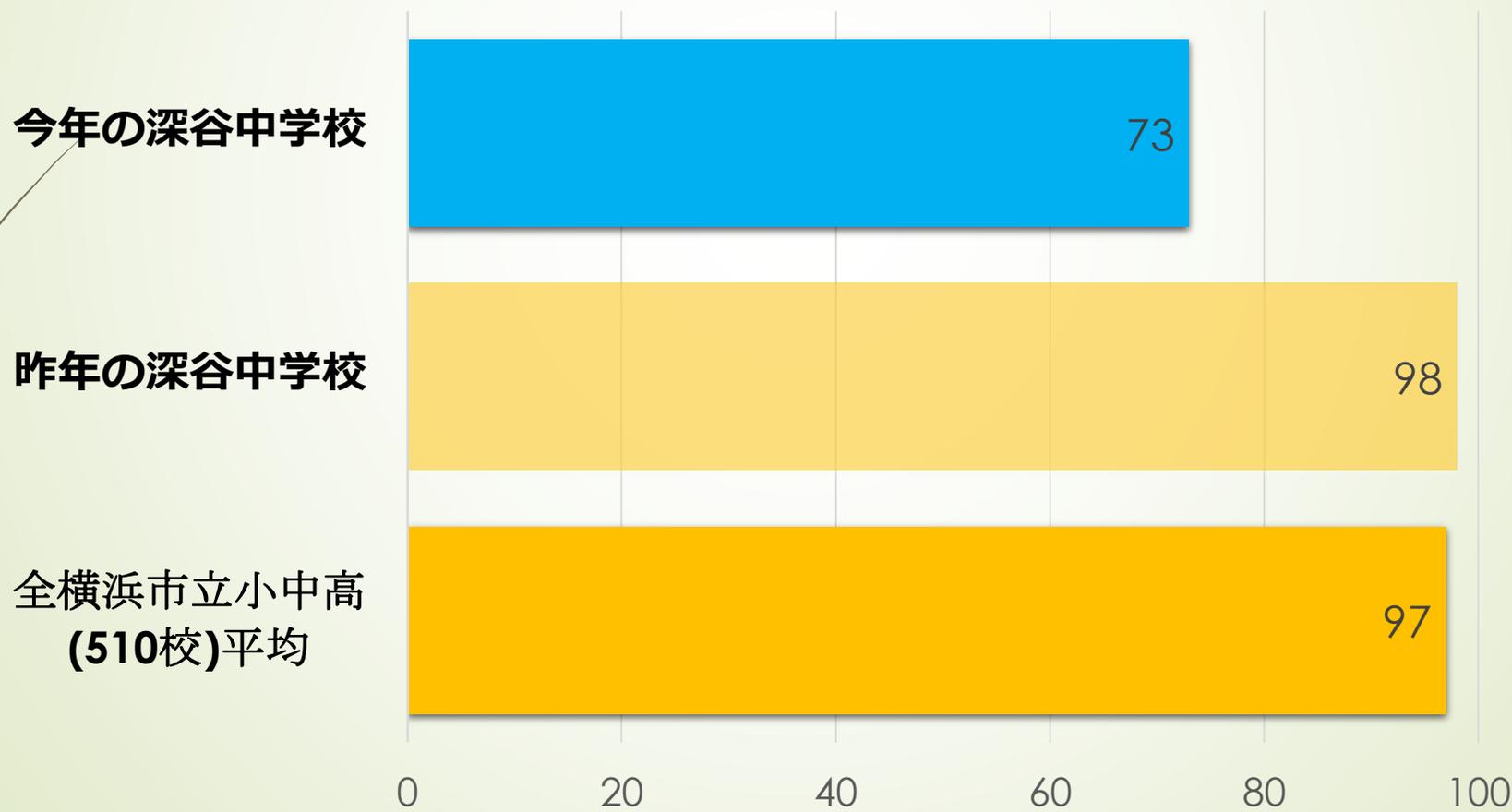
# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校

## 総合健康リスク

(高値ほど健康リスクが高い)



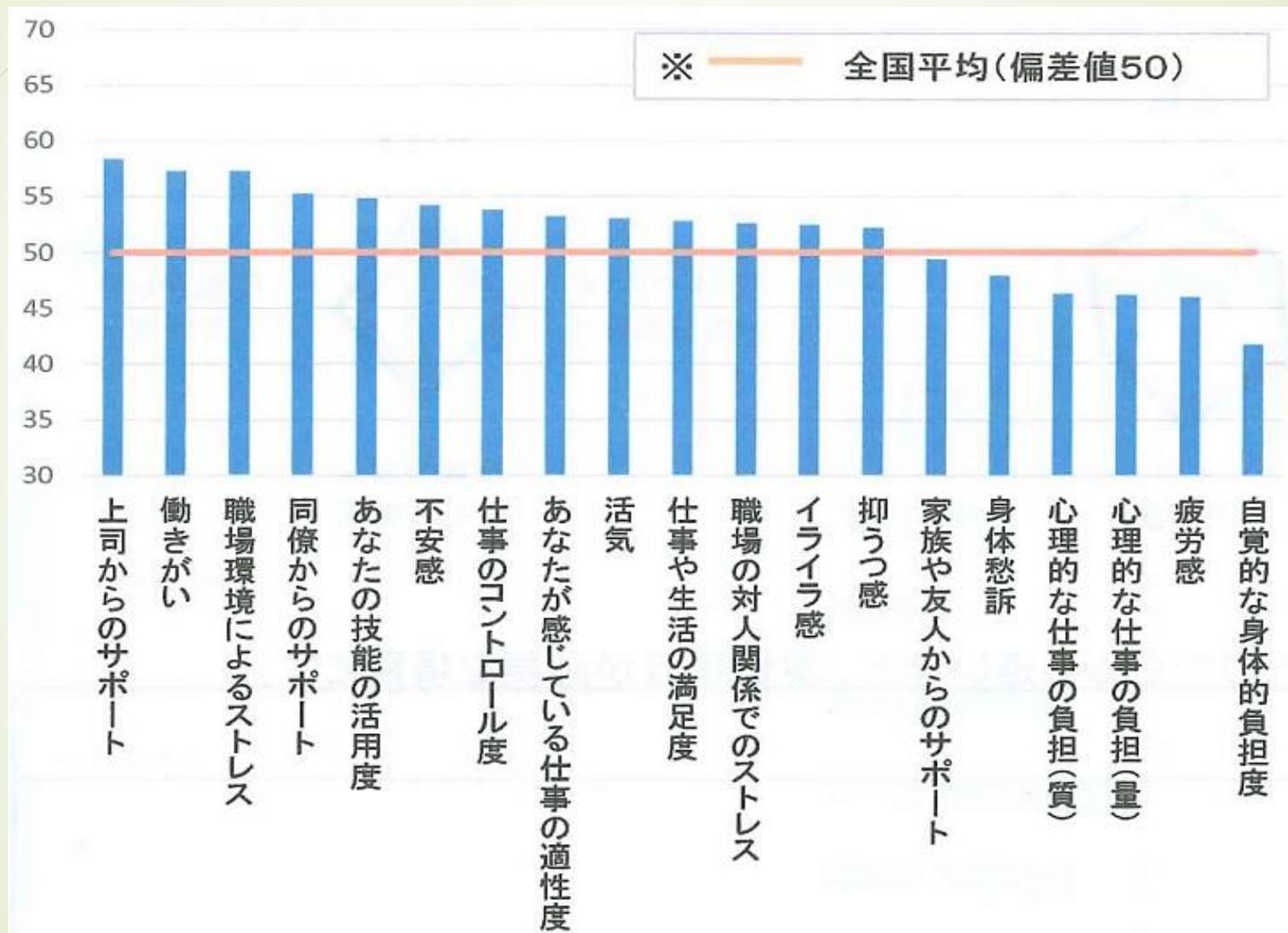
12



# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

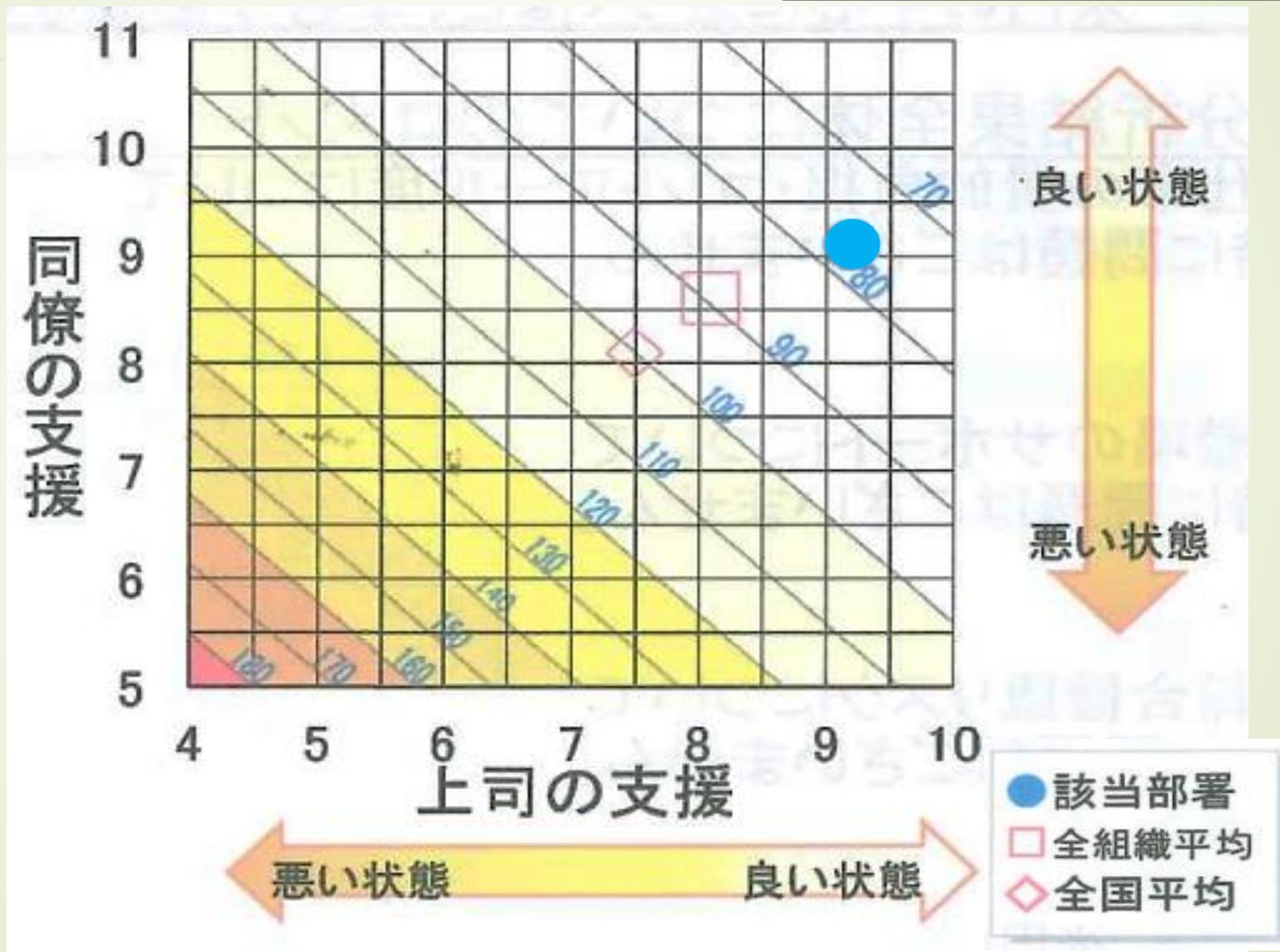
横浜市立深谷中学校



# ストレスチェック集団分析結果より

学校名

横浜市立深谷中学校



# 「授業時数の確保」と「働き方改革」 の同時実現に向けて

学校名

横浜市立深谷中学校

## 【行事の見直し】

- ◎ 離任式の年度内実施
- ◎ 前期授業を始業式後 3 日目から開始
- ◎ 前期終業式・後期始業式の同時実施
- ◎ 長期休業後  
初日から 5 時間授業で給食実施
- ◎ 合唱コンクール  
午前中は通常授業で午後実施

## 【働き方改革】

- ◎ 体育祭全校練習の廃止
- ◎ 合唱コンクール学年練習は 1 コマのみ
- ◎ 短時間による授業の組み合わせ自由度の向上
- ◎ 3 年生卒業前特別時間割の更なる工夫
  - ・ 外部講師の招聘による出前授業
  - ・ 文化芸術鑑賞学習
  - ・ 卒業式 練習と予行は各一回のみ実施  
⇒ 創出したコマで総合や道徳
- ◎ ICT 活用
  - ・ 学習支援ソフト、採点ソフトの活用

【今後に向けて】 授業時間数確保に向けて、後期も柔軟かつ緻密に時間割作成に取り組んでいく



# 「質の高い学び」と「持続可能な学校」 の同時実現に向けて

学校名

横浜市立深谷中学校

ご清聴ありがとうございました

